

## 骨粗鬆症、行動評価、肥満、性ホルモン評価

### 手術基本情報

- 系統：ラット Crl:CD(SD)、マウス Crl:CD1(ICR)など
- 性別：雌
- 週齢：4週齢以上
- 手術時間：ラット 7-10分、マウス 5-7分
- 術後観察期間：2日間
- 微生物グレード：ジャクソンラボラトリージャパン SPF項目
- 麻酔薬：ケタミン・キシラジン混合麻酔薬
- 鎮痛剤：カルプロフェン 5mg/kg S.C. SID 手術当日のみ
- 抗生物質：投与なし(必要に応じて投与)

### 処置概要

1. 体重測定及び一般症状観察を実施後、ケタミン・キシラジン混合麻酔薬を腹腔内に投与する。
2. 背部を除毛し、イソジン液及び70%エタノール液を用いて術野を消毒し、伏臥位に動物を固定する。
3. 背部皮膚を正中切開後、鑷子を用い鈍性に左側筋層の切開をする。
4. 鑷子を用いて卵巢および周囲脂肪組織を術野に露出し、左側卵巢を摘出する。
5. 右側卵巢摘出は左に準拠する。
6. 止血を確認後、クリップを用いて背部術創を縫合する。

※本書式に記載された術式は、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社手術グループ手順書「ラット卵巢摘出手術」(承認No.837)、「マウス卵巢摘出手術」(承認No.2441)の内容に準ずる。

### 手術の精度に関する事項

卵巢摘出手術は、卵管部より摘出を実施しております。摘出した卵巢は「臓器確認シート」に置き、個数、形状の確認を行い、不完全摘出個体の発生を防止に努めておりますが、試験終了時には解剖により子宮委縮などの所見から卵巢が摘出されていることをご確認ください。また、卵巢摘出により体重増加(肥満)が見られます。試験途中でございまして無処置群、偽手術群との体重比較により差がない個体につきましては、摘出時における卵巢の不完全摘出による影響の可能性もございまして、血中ホルモンの測定やスミアご確認ください。

## 配送情報

- 輸送箱：プラスチッククレート
- 梱包形態：ラット1-4匹/クレート、マウス1-8匹/クレート

